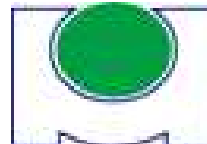


校長室から

校長室だより 第5号
令和3(2021)年7月20日発行
文責 宮城県宮城野高等学校
校長 佐藤 誠



前号の発行から1ヶ月以上日が開いてしまいました。本校は部活動がないので、他の多くの高校と違い、運動部の高校総体を区切りとするような学校内の設定や雰囲気はありません。代わりに、高校総体の裏番組というわけではありませんが、今年度は、同じ6月第1週の土日に行事を実施しました。

◇特別講座「学問の世界」を2年ぶりに開催 ～全17講座の専門領域に学ぶ～

6月5日(土)午前の日程で、全校行事である特別講座「学問の世界」を開催しました。この行事は、平成10年度から続く本校の特色ある行事の一つで、様々な分野で研究を行っている大学の先生方を講師に招き、1・2年次の生徒を対象に各分野の魅力と最先端・最新の情報を講義いただくことで、生徒が自己の適性理解を深め進路選択の手がかりとすることを目指しています。昨年度は中止としましたが、一昨年度まで「経済・経営学」「歴史学」「文学」「教育学」「心理学」「言語学」「美術」「音楽」「食品化学」「保育」「情報工学」「化学」「物理学」「ロボット工学」等をテーマとして、県内外の大学から講師をお招きし、17～18講座を設定して実施していました。今年度は、コロナの関係もありお招きする講師は県内各大学と山形市の東北芸工大に限定し、「政治学・法学」「社会学」「理学」「体育学」「薬学」「建築学」を含めた17講座を設定して開催し、たくさんの刺激を与えていただきました。

また同時に、3年次生を対象に進路分野別ガイダンス「卒業生に聞く」を開催し、文系・理系・教育系・芸術系の4コースに、4名ずつ総勢16名の卒業生に協力いただき、在学当時の学習活動や大学生活の様子を聞くことで、進路意識を明確にして学習と進路希望達成への意欲を高めることができました。山形大・秋田公立美術大・金沢美術工芸大の県外卒業生には、Zoomで参加いただきました。

さらに美術科では、上記の行事に続けて6月5日(土)午後と6日(日)終日、美術科1年次生及び希望する生徒を対象に「デッサン実技講習会」を開催しました。講師には県内の東北生活文化大学の先生方をお招きして、「木炭デッサン」「鉛筆デッサン」を実際に体験し、洋画・日本画・彫刻・デザイン・工芸の各専攻によるデッサンの特質と観点の違いを学びました。

その後、6月17日(木)から23日(火)まで、第1期定期考査を行いました。実施後の成績処理も完了し、現在は、7月12日(月)から21日(水)までを期間として、保護者にも参加いただく三者面談期間となっています。来週7月21日には夏季休業前の全校集会を行い、翌日から夏季休業となりますが、1・2年次は8月3日まで、3年次は8月6日まで「夏季実力養成講座」を行いますので、実質的にはまだまだ平常に近い学校生活が続くことになります。ただ本校では、昨年度から全ての普通教室にエアコンを設置しましたので、生徒諸君は快適に学習活動に取り組めるものと思います。参加する生徒諸君は、機会と時間を有効に使い、頑張ってください。

◇第1回学校説明会(オープンスクール)を開催しました！ 6月26日(土)

県内公立高校で今年度一番最初となる6月26日(土)に、中学3年生及び保護者を対象とする本校第1回学校説明会(オープンスクール)を開催しました。昨年度は、希望者への個別学校見学と説明で対応しましたが、2年ぶりに参加者を募って開催することができました。しかしながら、一昨年までの学校説明会とは異なり、コロナ対応のために個別説明会は行わず、内容も全体説明と簡易の校舎内見学のみとして、時間は約1時間程度を予定し、午前中に2回実施、体育館の収用人数から各回の参加者定員を最大400名までと設定して、募集を行いました。申込み方法は、学校公式HPから、みやぎ電子申請サービスを利用した申込みとしました。結果、①9時からの回は県内56中学校から中学3年生及び保護者合わせて212名、②11時30分からの回は県内73中学校から中学3年生及び保護者合わせて264名、想定した定員には届きませんでしたが、合計476名の参加をいただきました。

当日は、雨が降るかも知れない予報の曇天で、実際に少しパラりましたが、何とか天候も悪化せず終了することができました。参加者も、申込み人数とほぼ同数の参加をいただくことができました。

開催に当たりこだわったのは、生徒による校歌紹介の実施です。本校の校歌は、前回「校長室だより」第4号に掲載のとおり、全国でも珍しい無伴奏混声四部合唱による校歌です。私が以前教頭で勤務した時に覚えた感動を是非共有していただきたいという思いがあって、生徒有志の協力で、校歌披露を行うことができました。実は、昨年度は、年度当初から休校でスタートしコロナ対応で終わった1年の中で、学校行事で校歌を歌う機会が一度もありませんでした。このままでは、在校生すら校歌の素晴らしさを感じる機会がないままに終わるかもという、危機感がありました。当然、校歌の素晴らしさを多くの人に伝えたいという思いが基本ではありますが、まずは在校生に再確認をしてもらいたいと思ったのです。当日、有志生徒諸君が歌う校歌のハーモニーを自分でも実際に久しぶりに聞いて、改めて感動を覚えました。参加した中学生と保護者の皆様から終了後に提出いただいたアンケートのコメントでも、素敵な校歌が良かったとの感想をいただき、心からやって良かったと思いました。

◇第2回学校説明会(オープンスクール)は、7月31日(土)に開催します！

今年度第2回目の学校説明会は7月31日(土)に、第1回目と同じく午前中に2回開催する予定です。参加申込みは第1回と同時にスタートしており、7月15日締切と設定していましたが、希望がある方には大変申し訳なかったのですが、申込みを終了とさせていただきました。申込みできなかった方は、この後、9月23日(木)に夢メッセみやぎを会場に仙塩地区高校合同説明会、11月13日(土)に宮城野区文化センターを会場に本校第3回学校説明会を開催する予定ですので、ぜひそちらに参加いただけたらと思います。また、それまで待てないという中学3年生と保護者の皆様には、できる限り個別での説明と学校見学の時間を作りたいと考えています。できれば、各ご家族ごとよりは、各中学校でまとまってお申し出いただくと、対応しやすくなりますので、それぞれの中学校の先生にご相談いただければと思います。

◇たくさんの在校生、そして先生方も、各方面で活躍しています。

校長室だより第3号で本校卒業生の活躍を紹介しました。でも、活躍しているのは卒業生だけではありません。たくさんの在校生、そして先生方による、素晴らしい活躍の数々を紹介します。

○「高校生絵画展IN登米市2021」(5月27日～5月30日、会場:登米祝祭劇場)

優良賞 「はなまる」宮川愛唯さん(27H) 奨励賞 「揃うこと」三上真梨紗さん(21H)

○「第71回仙台市内高校美術展」(7月8日～11日、宮城県美術館県民ギャラリー)

優秀賞(10点) 阿部穂之花さん・伊藤美南さん・岡崎薫さん&菅原崎さん[共同制作]・鹿野菜天子さん・笹山優さん・佐藤彩さん・東海林朱李さん(以上21H)・菊地芹さん・千葉翔太さん・若生音羽さん(以上11H)

美研賞(2点) 笹山優さん(21H)・宮川愛唯さん(27H)

○「令和3年度宮城県愛鳥週間ポスター原画コンクール」(7月1日～9日、県庁2階壁面・7月10日～8月4日、県蔵王野鳥の森自然観察センター「ことりはうす」他) 優秀賞 太田衣咲さん(11H)・花輪ひなたさん(21H)

優良賞 鹿野菜天子さん(21H)・村上愛里沙さん(21H)

○日本を元気にするデーPROJECT主催(株式会社吉寿屋統括責任・大阪芸術大学デザイン学科協力)「マスクケースデザインコンペティション2021」 最優秀賞(最高賞1点) 磯部光優さん(31H)

○日本国際ポスター美術館主催「第20回全国高校生ポスターコンクール」(入賞作品展:8月7日～16日、岐阜県大垣市スイトピアセンター文化会館3F展示室) 奨励賞 鹿野菜天子さん(21H)

○西脇千夏さん(14H):令和3年度国民体育大会東北ブロック大会スポーツライミング競技(7月10日～11日、山形県総合運動公園)に宮城県少年女子代表メンバーとして参加、総合成績第2位に入賞して、三重県で開催される第76回国民体育大会の宮城県代表として参加することが決定した。

○古川恭伍さん(22H):「東京オリンピック2020」聖火ランナーの宮城県内走者の一人として参加(6月20日)。

○高橋一樹さん(32H):「東京オリンピック2020・ユースプロジェクト」に公益社団法人日本ダンススポーツ連盟から出演依頼があり、8月3日東京都明有明体育館で開催されるオリンピック・バレーボール競技の開始前やハーフタイムにダンスパフォーマンスや演技を披露するチームメンバーの一人として参加予定。

○只野彩佳先生(美術科講師):公益財団法人雪梁舎美術館主催「第23回フィレンツェ賞展」フィレンツェ大賞受賞(※最高賞) 作品名:melt 「フィレンツェ賞展」は、株式会社コメリ創業者撲賢一氏設立の雪梁舎美術館(新潟市)が主催する公募展です。今年度最高賞であるフィレンツェ大賞を受賞された只野先生には、3ヶ月間のフィレンツェ滞在と制作活動の支援、国立フィレンツェ美術アカデミアの特別聴講が副賞として提供されるそうです。

○針生卓治先生(美術科講師):山梨県立美術館主催「キュレーターズ・アイ 針生卓治展」開催(4月27日～6月27日、会場:山梨県立美術館) 針生先生は、第73回河北美術展で大賞である河北賞を受賞(2010年)された他、多くの公募展入賞や東京で個展を開催する等の現役作家であり、山梨県内での活動経験があることから、山梨県にゆかりの若手作家を紹介する山梨県立美術館企画に取り上げられ、今回個展が開催されたとのこと。

学校花木散歩 その5の①「ムクゲ」 ～これからが盛りの夏の花～

「ムクゲ」は中国など東アジアを原産とする落葉低木で、世界中の温帯で広く育てられ、日本では江戸時代から多くの品種が作られた。「ムクゲ」という呼び名は、中国名「木槿(モクギン)」、韓国名「無窮花(ムグンファ)」の呼び名が転訛したと考えられている。夏から秋にかけてが花の盛りの時期で、挿し木した枝が翌年には開花するほど生命力はすさまじいものがあり、これにあやかって韓国ではムクゲを国花としている。

本校では、生徒駐輪場と校舎・職員駐車場の間に囲むように植えてあり、ちょうど白い花とピンク系(薄紫)の花がたくさん咲き始めた。実は、一輪一輪は1日で散る「一日花」で、次々に開花するために木全体としてずっと咲いているような印象に見えるのだという。生徒諸君の教室の窓からもよく見えると思います。

②「ネジバナ」 ～よく見ると不思議な形の花・人気の山野草～

「ネジバナ」は、「ネジリバナ」「ネジレバナ」「ねじり草」とも呼ばれ、その名のとおおり1本の茎の上部にピンクの花の列がらせん状にぐるぐる巻きながらついている。少し湿り気のある日当たりの良い草地によく生育する。その花の可愛らしさから、愛好家の間では展示即売会等で山野草として販売されることもある。

本校では、上のムクゲの植え込みの手前、ハナモモの木の間にもその姿がよく見える。白い花のネジバナがあるのは知っていたが、どうも右巻きと左巻きの両方があるらしい。生徒の皆さんも探してみたらどうだろう。